

南伊豆町地域公共交通会議の概要について

1 設置目的

地域公共交通会議は、道路運送法の規定に基づく会議です。

地域における需要に応じた住民の生活に必要なバス等の旅客運送の確保その他旅客の利便の増進を図り、地域の実情に即した輸送サービスの実現に必要な事項を協議するため設置するものです。

2 協議事項

- (1) 地域の実情に応じた適切な乗合旅客運送の態様及び運賃・料金等に関する事項
- (2) 町運営有償運送の必要性及び旅客から収受する対価に関する事項
- (3) 交通会議の運営方法その他交通会議が必要と認める事項

3 南伊豆町地域公共交通会議の構成員

- (1) 一般乗合旅客自動車運送事業者
- (2) 社団法人静岡県バス協会
- (3) 住民又は利用者の代表
- (4) 中部運輸局静岡運輸支局長又はその指名する者
- (5) 一般旅客自動車運送事業者の事業用自動車の運転者が組織する団体
- (6) 静岡県下田土木事務所長又はその指名する者
- (7) 静岡県警察下田警察署長又はその指名する者
- (8) その他交通会議の運営上必要と認める者

4 会議運営

交通会議の議決の方法は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは議長が可否を決定します。

5 その他

協議結果については町ホームページで公表します。過去の協議結果や取り組み内容についても公表しています。

南伊豆町公共交通の概要について

1 交通ネットワークの状況

(1) タクシー

町内にはタクシー営業所がなく、伊豆東海タクシー株式会社の協力のもと、下田営業所より南伊豆町内へ配車されている。

(2) バス

○バスの種類

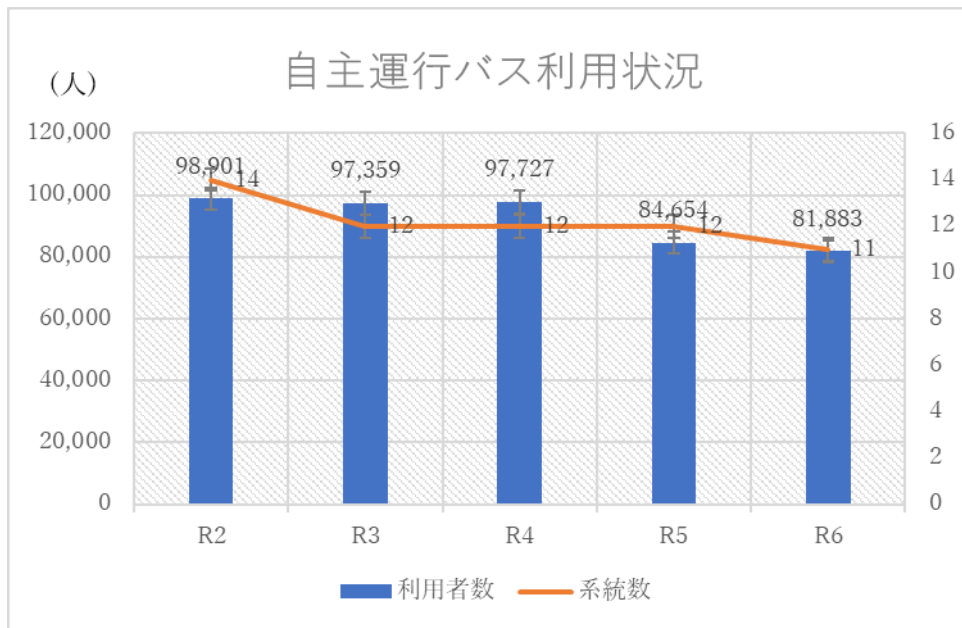
バスの種類	内 容
①路線バス	<ul style="list-style-type: none"> ・ 東海バスが自ら営業として運行している路線 ・ 赤字になった路線は撤退する
②自主運行バス	<ul style="list-style-type: none"> ・ 撤退する路線バスについて住民が必要としている場合に運行する路線（道路運送法4条） ・ 住民が必要としなければ廃止となる路線
③地域間幹線バス	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域をまたがるバス路線（下田石廊崎線）（下田下賀茂線） ・ 地域に必要なバス路線であり、赤字部分がある場合は国から補助金が交付される。
④自家用有償旅客運送バス （なのはな号）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 公共交通空白地を定時定路線で町が運行する。 （青野、一條、※吉田は R3.10 に廃止） （道路運送法 79 条）

2 南伊豆町の交通関連データ推移

項目	S63	H19	R 3	R 6
人口	11,327	9,986	7,941	7,471 ^{*1}
世帯	3,569	4,024	3,903	3,804 ^{*1}
自動車保有台数 （台）	6,717 (1.9/世帯当たり)	7,980 (2.0/世帯当たり)	7,206 (1.8/世帯当たり)	7,025 ^{*1} (1.8/世帯当たり)
小売業(店舗)	247	159	102	93 ^{*2}

^{*1} 出展: 令和6年度南伊豆町 町勢要覧より ^{*2} 経済センサス活動調査より(令和3年最新)

○自主運行バスの利用実績



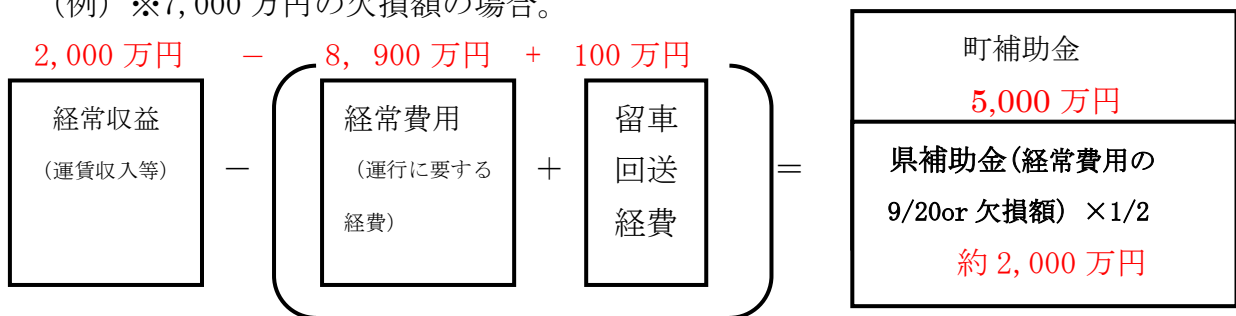
(※自家用有償+自主運行バス)

3 自主運行バス事業に係る費用

○ 町補助金

例年5月から6月にかけて乗降調査を実施し、調査結果をもとに算出した自主運行バス事業に伴う欠損額及び留車に係る経費を、バス事業者に補助金として支出。

(例) ※7,000万円の欠損額の場合。



※県補助金は平均乗車密度や補正係数による計算がなされるため、単純な欠損額の1/2とはならない。令和5年度の費用を参考に当てはめる。

特別交付税(県補助金を除いた額の80%措置)
5,000万円×80%=4,000万円 (町の負担は1,000万円)

○南伊豆町高齢者通院バス料金助成事業(所管：福祉介護課) ※平成 24 年度開始

概 要：共立湊病院の移転に伴い、下田メディカルセンターまでの通院に要する交通費の一部を助成することにより、負担軽減及び早期治療を促進し、安心して生活できる環境整備を図る。

補助内容：1通院に要したバス料金の半額を助成する。バス料金が2,000円を超えた場合は、バス料金から1,000円差し引いた金額を助成する。

補助対象者：65歳以上の町民。付添いは1名まで対象

(実績)

年度	利用者数(人)	国補助金(千円)	町補助金(千円)
		県補助金(千円)	
R 3	25	0	113
		0	
R 4	25	0	103
		0	
R 5	30	0	77
		0	

○南伊豆町重度障害者タクシー利用料金助成事業(所管：福祉介護課) ※平成 8 年度開始

概 要：町内の手帳所持者のタクシー賃走基本料金を助成する。

補助内容：1乗車につき中型及び小型タクシー賃走基本料金相当額をタクシー事業所に支払う。※基本料金・・・初乗り料金

補助対象者：身体障害者手帳1・2級、療育手帳A

(実績)

年度	利用者数(人)	国補助金(千円)	町補助金(千円)
		県補助金(千円)	※事業所への支払額
R 3	8	0	29
		0	
R 4	7	0	17
		0	
R 5	5	0	22
		0	

○へき地患者輸送事業(所管：健康増進課) ※昭和 42 年度開始

概 要：準無医療地区について、へき地（三浜、三坂、南上）の患者を最寄りの医療機関まで輸送することにより、へき地における住民の医療を確保する。

補 助 内 容：地域の患者の移動支援

補助対象者：準無医療地区の患者

(実績)

年度	利用者数(人)	国補助金(千円)	町補助金(千円)
		県補助金(千円)	
R 3	297	0	0
		382	
R 4	216	0	0
		382	
R 5	178	0	0
		382	

○南伊豆町高等学校等バス通学費補助事業(所管：教育委員会事務局) ※平成 31 年度開始

概 要：高等学校等にバス及び電車を利用して通学する生徒を扶養する保護者の経済的負担の軽減及び路線バスや電車の利用促進を目的とし、通学定期券の購入補助を実施する。

補 助 内 容：定期券の購入費用の2分の1を補助する。

補助対象者：南伊豆町に住所を有し、高等学校等に就学する生徒で、中学校卒業後3年以内の生徒(定時制の場合は卒業後4年以内の生徒)

そ の 他：電車利用に係る補助を、令和5年度から追加した。

(実績)

年度	利用者数(人)	国補助金(千円)	町補助金(千円)
		県補助金(千円)	
R 3	799(延べ)	0	12,708
		0	
R 4	759(延べ)	0	13,247
		0	
R 5	703(延べ)	0	13,705
		0	

○南伊豆町立小中学校児童生徒の通学費補助(所管：教育委員会事務局)

概要： 通学距離が遠距離の者及び地理的または社会的特殊事情の地区の者に対し、通学費を町が補助することにより、保護者の負担を軽減し通学の恒久的安定を図る。

補助内容： 児童及び生徒にバス定期券又は回数券を交付する。

補助対象者： ・通学距離 2 km以上の児童（小学生） 通学距離 6 km以上の生徒（中学生）
 ・通学路が地理的または社会的特殊事情の地区の児童及び生徒

その他：平成 31 年 4 月 1 日から要件緩和（児童の通学距離を 4 km以上⇒ 2 km以上）
 (実績)

年度	利用者数(人)	国補助金(千円)	町補助金(千円)
		県補助金(千円)	
R 3	定期券：483 (延べ)	0	12,133
	回数券：69 (延べ)	0	
R 4	定期券：488 (延べ)	0	12,676
	回数券：76 (延べ)	0	
R 5	定期券：483 (延べ)	0	11,420
	回数券：27 (延べ)	0	

※回数券は、遠距離通学者で学童保育を利用するなど片道利用の児童。

○南伊豆町ボランティアによる高齢者の外出支援（訪問型サービスD）

（所管：包括支援センター）※令和3年度開始

概要：町有車を使用した買い物の支援を行う。買い物中の付き添いや荷物を持つ等の支援の他、車両乗降時の見守りも実施している。

補助内容：要支援1・2対象者の買い物や通院等の移動支援

補助対象者：要支援1・2対象者

その他：令和5年度から、個人ボランティアでの支援は訪問型サービスB、町有車を使用した買い物については訪問型サービスDで対応。

年度	利用者数(人)	国補助金(千円)	町補助金(千円)
		県補助金(千円)	
R 3	27	0	600
		0	
R 4	30	0	600
		0	
R 5	5	0	240
		0	

事業名：南伊豆町ボランティアによる高齢者の外出支援（訪問型サービスB）

概要：個人ボランティアの車両を使用した買い物や通院等の支援を生活支援と一体的に実施。買い物中の付き添いや荷物を持つ等の支援の他、車両乗降時の見守りやゴミ捨て等も実施している。

補助対象者：事業対象者、要支援1・2

年度	利用者数(人)	国補助金(千円)	町補助金(千円)
		県補助金(千円)	
R 3			
R 4			
R 5	16		360